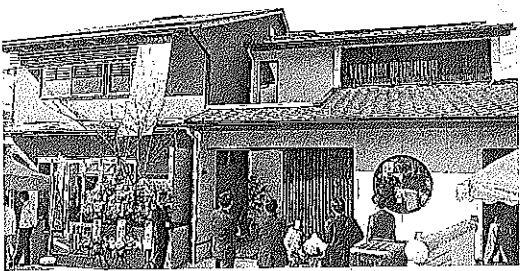


に交付され、すでに返還した。(高橋晴久、石川健一郎)

京分

省エネ「平成の京町家」

下京に住宅展示場 きょうオープン



「平成の京町家」の普及に向け展示場に建てられたモデル住宅 (京都市下京区河原町通塩小路)

京町家の知恵と現代の環境技術を取り入れた内覧会を開き住宅の良さをPRした。展示場はメーカーなど住宅関係者でつくる「平成の京町家コンソーシアム」などが設置し、約1600平方メートルの京町家も建設社が建てた現代風の町家3軒が並んだ。京町家の土間や吹き抜けを

宇治市長選 能塚氏が出馬表明



能塚耐子氏

任期満了に伴う宇治市長選(12月2日告示、9日投票)に、社会福祉法人「栗隈福祉会」

理事長の能塚耐子氏(67)が2日、無所属で立候補することを表明した。共産党洛南地区委員会などをつくる市民団体「21年宇治市民ネット」が同日、代表者会議を開いて候補者に決定した。能塚氏は「子育てで本一、暮らし最優先の市をつくりたい」と述べ、待機児童の解消や敬老祝い金の復活、老朽化が進む学校の改修などの政策を掲げた。

が2年前から認定を始めた。金物をほとんど使わない「伝統型」と、府内の木材を使うなどの「一般型」がある。市は2019年度に5

現代風にアレンジして効果的に風を取り入れる窓なども配置。はりや柱には京都産の杉もふんだんに使った。京都建築専門学校が、購入を検討する市民らを対象としたセミナーなどを行う普及センターも兼ねた伝統型の京町家も建設しており、来春には完成する予定。

JR京都駅烏丸口 休日(タクシー)増に ぎょうから観光シーズン対策

秋の叙勲 府内の受章者

瑞宝単光章

角尾委都子さん(64)

元特別養護老人ホーム介護職員 (与謝野町)

3日付で発表された「秋の叙勲」で京都府内から87人が選ばれた。その道一筋に精進を重ね、晴れの栄誉に輝いた人たちに喜びを聞いた。(3面参照)



「いつも声を掛け、夫と死別後、織物業に頼り関係を築くことが、従事したが、36歳で介護の道に転職。子ども

「信頼関係」介護の基本

2人を育てながら、不規則な勤務をこなしてきた。要介護度が高く、会話が困難な高齢者の表情から意思を読み、こまめに要望を尋ねる。「入浴、排せつなど、日々の生活を助けるのが介護。相手を理解し、常に寄り添わなければがにつながらる」。親密なやりとりが、安全を支えること信じ、27年間勤め上げた。「お礼を言われた時のうれしさを、頑張

(葦原裕)

瑞宝単光章

「形骸化」 員研修会 役割議論

「形骸化している」「無たという力感がある」などと、制度への疑問や限界を打ち明ける率直な声が相次いだ。

秋の観光シーズンを限り、一日当たり2ループが乗り入れてできるようにする。12月2日まで続ける。同センターは「観光客の多い時期なので、タクシーが増えても周辺にあふれるのは最小限にとどまると思う。道路の混雑を避けつつ、タクシーを待つ時間をできるだけ少なくしたい」としている。(広瀬一隆)

ネット犯罪注意 留学生に訴えて 府警防犯会議 外国人留学生がイン

同課捜査側が留学生ト内容や把握することた上で、に積極的な点があれ報を」と感